

ミュージアムと偶察力

共創を生み出すまなざし

事前
申込制

2024年1月21日(日)

とびらプロジェクトでは、美術館を拠点に人と作品、人と人、人と場所をつなぐ活動を12年にわたり展開してきました。社会情勢や人々の生活、ミュージアムの状況が大きく変動するなかで、今年度も多様なアート・コミュニケーターたちと新たな対話の場づくりに取り組んでいます。

今年度の取り組みの中から、東京藝術大学大学美術館や地域の認知症カフェを開催する医療・福祉団体と協働して開催した「ずっとび鑑賞会^{※1}」や、聴者・ろう者・難聴者が一緒に作品について思考したティーンズプログラム「みるラボ：わからないのはじまり^{※2}」、12年間のアーカイブやとびらの活動を紹介した展示「アート・コミュニケーション事業を体験する2023」などの事例をふりかえりながら、あらゆる人々との共創を可能にするコミュニティがどのように生まれてくるのかについて考えていきます。

ミュージアムでは、文化財との出会いや鑑賞、他者との対話を通して、人々の創造性が発揮されます。13回目となるとびらプロジェクトフォーラムでは「偶察力^{※3}」をキーワードに、作品を介して来館者と共につくる場でのアート・コミュニケーターのかかわり方をみることで、偶然の出会いからかけがえのない価値が生まれていくプロセスを紐解いていきます。みなさんのご参加をお待ちしています。

※1「Creative Ageing ずっとび」との連動 ※2「Museum Start あいうえの」との連動
※3 セレンディピティ (serendipity)

参加申込方法

参加費無料、事前申込制(先着順)

「とびらプロジェクト」ウェブサイト内の申込フォームからお申し込みください。

 <https://tobira-project.info>

とびらプロジェクト 検索

お問い合わせ 東京都美術館 アート・コミュニケーション係
〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

メール: q-tobira@tobira-project.info

Tel: 03-3823-6921 (東京都美術館代表)

主催 / 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、東京藝術大学
企画・運営 / 東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」
2023 © Tokyo Metropolitan Art Museum



第一部

13:00~15:30 [開場 12:30]

会場: 東京都美術館 講堂

定員: 220名 ※定員になり次第締め切ります。

●手話通訳、文字通訳あり ※後日、記録映像の公開あり

とびらプロジェクトとは?

トークセッション

共創を生み出す「アート・コミュニケーター」のかかわり方

アート・コミュニケーター / 熊谷香寿美 / 小牟田悠介

ディスカッション

ミュージアムと偶察力



日比野克彦
アーティスト/
東京藝術大学学長



熊谷香寿美
東京都美術館 学芸員
アート・コミュニケーション係長/
とびらプロジェクトマネジャー



黒川廣子
東京藝術大学
大学美術館館長・教授



小牟田悠介
東京藝術大学 芸術未来研究場
ケア&コミュニケーション領域
特任助教/とびらプロジェクト
マネジャー



西村佳哲
プランニング・ディレクター/
リビングワールド代表

第二部

15:45~17:00

会場: 東京都美術館 講堂、

アートスタディールーム、スタジオ

とびら オープンセッション

とびらプロジェクトの活動拠点を公開し、とびらポなどのとびらの普段の活動についてご紹介します。とびらがみなさまからのご質問にもお答えします。時間内はご自由に入退場いただけます。

*プログラムの様子は、第一部・第二部ともに広報・記録用として撮影させていただきます。ウェブサイト等の広報媒体に使用することがありますので、ご了承ください。

東京都美術館
×
東京藝術大学

とびらー 募集!

定員
40名

「アート・コミュニケーター」をとびらーとよびます。



締切

2024.1.31

水

消印有効



東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト

「とびらプロジェクト」とは、東京都美術館と東京藝術大学が連携して行っているソーシャルデザイン・プロジェクトです。

とびらプロジェクトとは？

東京都美術館と東京藝術大学と市民が連携し、アートを介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクトです。美術館を拠点に、そこにある文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、そこから生まれる新しい価値を、実践を通して社会に届けています。

今年も活動の主体となるアート・コミュニケーター(とびラー)を40名募集します。東京都美術館と東京藝術大学と共に、あなたもアート・コミュニケーター(とびラー)として活動に参加してみませんか。「とびラー」の活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家を中心としたプロジェクトチームがしっかりとサポートしていきます。

例えばこんな活動 アート・コミュニケーター(とびラー)はアートを介して人々の中に新しい価値を育む活動を行っています。



人々のつながりを大切にしたい新しい対話の場づくり



建築家・前川國男が設計した東京都美術館の建築を味わう取り組み



子どもたちが自ら学び考える力を育む鑑賞プログラム
(「Museum Start あいうえの」との連動など)



障害のある方や高齢者など美術館に来館しづらい方々を対象とした鑑賞プログラム
(「Creative Ageing ずっとび」との連動など)

講座について

日程：2024年4月13日/27日、5月11日/25日、6月8日/22日【全6回】
(すべて土曜日、午前10時～午後3時予定) ※ 初年度のみ。全回参加必須です。

場所：東京都美術館、東京藝術大学

内容：美術館での活動についてや対話の場づくり、作品を通じたコミュニケーションとはどのようなものかを学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事の見方をディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めていきます。

東京都美術館のミッション

東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害のある方が何のためらいもなく来館できる、すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指します。新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

東京藝術大学からのメッセージ

アートを介したコミュニティづくりは、作品を創造する人、そしてそれを享受する人を含め、人びとのクリエイティブな力が生きる社会をつくることにつながります。東京藝術大学は、芸術の基本である「もの」としての作品に加えて、「こと」としての芸術に取組み、市民が芸術に親しむ機会の創出に努め、芸術をもって社会に貢献します。



活動への理解が
深まる参考図書

美術館と大学と市民がつくる
ソーシャルデザインプロジェクト



青幻舎 とびらプロジェクト 編
1,760円

子どもと大人のための
ミュージアム思考



左右社 稲庭彩和子 編著、他
1,980円

全国の書店やインターネット書店で発売中

2024年7月から実践講座が始まります。毎年度、3つの実践講座(アクセス、鑑賞、建築)から選択して参加します。



鑑賞実践講座の様子

募集人数 **40**名

応募受付期間

日程

2024年
1月4日(木)～1月31日(水)
消印有効

1次選考

書類審査

選考結果は2024年2月19日(月) 発送で応募者全員にお知らせします。

2次選考

面接審査

2024年
3月8日(金)～10日(日)のいずれか1日
面接は東京都美術館にて対面で行います。選考結果は2024年3月20日(水) 発送で2次選考対象者全員にお知らせします。

* 2次選考の面接はアート・コミュニケーターの活動をウェブサイトや参考図書等でご覧いただいていることを前提に行います。

応募条件

- 18歳以上の方で、日常会話レベルの日本語ができる方(2024年4月1日現在)
- 美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動意欲のある方
- 東京都美術館のミッションと東京藝術大学からのメッセージを理解し、共感して活動できる方
- 2024年4月～6月の基礎講座全6回に全て参加可能な方
- 2024年7月以降、月2日以上活動可能な方
- パソコンなどでのEメール送受信が可能な方

活動条件

- 活動場所は東京都美術館、東京藝術大学などです。
- アート・コミュニケーターの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、ワークショップや講座等学びのコミュニティに無料で参加できます。
- アート・コミュニケーターの登録期間は1年間とします。次年度以降は本人ととびらプロジェクト双方の合意のうえ、登録更新し、最長3年間とします。

【活動に際して】

Eメールでの連絡のほか、とびらプロジェクト専用SNSやオンライン情報共有ツール(カレンダーやストレージ等)を使用します。

応募方法

以下の書類を郵送してください。

- ☑ 応募用紙：<アート・コミュニケーター応募用紙>に必要事項を記入してください。
※「とびらプロジェクト」ウェブサイトよりダウンロードしてください。<https://tobira-project.info>
- ☑ 1次選考課題：A4用紙1枚(記載様式自由、裏面への記入不可。必ず氏名を記載のこと)
- ☑ 返信用封筒1通：定形封筒(長形3号)に**84円切手を貼付**の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
- ☑ 郵送の際には、封筒の表面に「**アート・コミュニケーター応募書類在中**」と朱記してください。

応募受付期間：2024年1月4日(木)～1月31日(水) 消印有効

1次選考課題 ※ A4用紙1枚 表面のみに記入

アート・コミュニケーターに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験について、述べてください。

美術館の体験でも、美術館の体験でなくてもかまいません。

書類郵送先

東京都美術館アート・コミュニケーター募集担当宛 〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

※一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。 ※ 応募者の個人情報は、アート・コミュニケーターの選考に関する以外には一切使用しません。

「とびらプロジェクト」
ウェブサイトはこちらから

